

2009年10月19日

報道機関各位

株式会社ワイディ

Medical Imaging Academy(MIA)
心臓超音波診断学習教材作成で韓国延世大学附属サーベランス病院と提携
～心臓超音波診断のスキルアップを支援～

株式会社ワイディ（奈良県生駒市、代表取締役社長：中島康博、以下 ワイディ）は、心臓超音波（以下 心エコー）に関連する学習サイトである Medical Imaging Academy（以下 MIA）の学習コンテンツの充実を図るため、韓国の延世大学附属サーベランス病院（医学部長：Namsik Chung 先生 以下 サーベランス病院）と相互協力することで合意しました。

Medical Imaging Academy ウェブサイト：<http://www.medical-imaging-academy.com/>

■背景

現在、MIA は岡山大学 循環器内科 伊藤浩教授 監修のもと、桜橋渡辺病院 心臓・血管センター（岩倉克臣センター長、上田政一室長）の協力により心エコー教育プログラムの開発を行っております。本教育プログラムの主要コンテンツである、ユーザーが実際の心エコー動画像を見ながら画像診断スキルを向上させる学習コンテンツに関して伊藤教授はそのコンセプトを以下のように語っておられます。

「心エコー画像診断は当然みたことの無い画像は診断できない。画像診断のスキル向上にはバリエーションに富む心エコー画像にできるだけ多くふれ、そしてそれを読む全ての人が同じポイントで診断できることが重要である。」

このコンセプトに基づき MIA ではより多くの心エコー動画像を読み、正確な画像診断の学習を可能にする教育プログラムを目指しています。

■サーベランス病院との提携

韓国の病院はセンター化が進み日本の病院とは異なり多くが大規模病院かクリニックです。大規模病院における心エコー検査数は日本と比較した場合、1 病院あたり日本の 2～3 倍にもなります。より多くの症例画像や画像診断練習問題を集めるため、膨大な臨床心エコー画像のストックを持ちしかも医療水準が世界的レベルである韓国 延世大学 延世大学校 サーベランス病院 医学部長 Namsik Chung 先生に、2009 年 6 月に本教育プログラムの作成の協力を依頼し、2009 年 9 月 17 日、サーベランス病院にて、今回の合意に達しました。

主な合意内容は以下の通りです。

1. サーベランス病院より定期的に心エコー動画像・画像診断練習問題の提供を受ける。
2. 韓国の医師・技師のスキルアップを目指し、韓国版教育プログラムを作成する。
3. 日・韓両国の医師・技師の心エコー画像診断のスキルアップに寄与する。



サーベランス病院

左) 中島康博

右) Namsik Chung

■今後の展望

MIA では現在、340 の心エコー動画を用いた学習コンテンツを提供していますが、1年以内に2000 の心エコー画像を用いた学習コンテンツを提供します。また、来年には MIA の韓国版を提供し、その後、循環器総合画像データベースとして血管内エコー、心臓 CT・MRI 画像、アンギオ画像などの分野への進出も計画しています。

■株式会社ワイディについて

ワイディは IT で医療現場をサポートする医療技術商社です。医療向けソフトウェアの開発から、医療向け IT コンサルティング、医療向け教育など、総合的なサービスで、すべての医療機関を IT で支援します。

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社ワイディ

URL : <http://www.yellow-dog.jp>

技術部

富田 紀男 (トミタ ノリオ)

Mail : norio_tomita@yellowdog.co.jp

Tel : 026-283-7453 Fax : 026-291-0220

〒388-8020

長野県長野市神明 87 番地

MIA については添付資料「MIA について」を参考にしてください。

※ 記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。